

「教育目標：心豊かに自ら生き抜く、心身ともにたくましい生徒の育成」

平成27年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成27年8月28日(金)発行 第 18 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 全国学力学習状況調査を受けて

報道でもご覧になったかと思いますが、先日、平成27年度の学力学習状況調査の結果が公表されました。福島県は、残念ながら「9科目全国平均以下」、特に「算数、数学低下進む」という報道がなされています。

本校では、家庭での学習習慣や教科への興味関心は大変良好ですが、それが成績の向上につながっていない傾向が読み取れました。要因として考えられることに、文章の読み取りが不十分であること、また、学習習慣の割に成績が伸び悩んでいる理由として、基礎力不足が考えられます。

大きな建物を建てるには、それに見合った土台を作ることが必要です。学校では、この結果を受け、3年生の放課後学習で基礎力の向上を図る取り組みをしていきたいと考えています。

## 子ども「ふるさと福島」 魅力発掘プロジェクト

## 結団式参加

7月22日、福島県立博物館で『子ども「ふるさと福島」魅力発掘プロジェクト』の結団式が開かれ、高校の体験入学のため参加できなかった3年生をのぞいて、1、2年生全員で参加してきました。

式では、参加15団体の紹介の後、それぞれの団体が今年度取り組む内容について説明を行いました。本校生は、昨年の優秀賞受賞校として、全体のトップバッターでプレゼンテーションを行いました。この企画に参加しはじめた頃とは違い、参加態度や発表内容が堂々としており、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の高まりを感じました。

発掘する主なコースは、夏休み中にほぼ踏査しているので、これから文化祭に向けて成果品づくりに取り組みます。どのような作品にしてくれるか、大変楽しみです。

### 本県と全国の平均正答率(%)と順位

教科	国語A		国語B		算数A (数学)		算数B (数学)		理科	
	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年		
小学校	本県	71.1	73.3	65.3	57.0	74.3	78.7	42.4	57.8	60.7
	全国	70.0	72.9	65.4	55.5	75.2	78.1	45.0	58.2	60.8
	順位	21位	23位	25位	16位	33位	19位	44位	23位	24位
中学校	本県	75.2	79.4	64.5	50.5	61.2	64.7	38.1	56.8	52.5
	全国	75.8	79.4	65.8	51.0	64.4	67.4	41.6	59.8	53.0
	順位	34位	25位	37位	30位	44位	43位	44位	41位	27位

※理科は全員参加で初めての実施



## 始業式式辞（決心したものが進歩する）

今年の夏も大変暑い夏でした。でも、お盆を過ぎたあたりから、殺人的な暑さも和らぎ、爽やかさを感じることができるようになりました。

暑い中、この夏休みは、皆さん休みを返上して大変よく頑張ってくれたと思います。「魅力を探る旅」から始まり、「結団式」、駅伝練習、合唱練習、そして合唱祭への参加…。特に合唱は、16人とは思えないほどの声量とできばえでした。皆さんの努力に心から感謝します。

さて、いよいよ2学期が始まります。始業式にあたり、今日は「決心したものが進歩する」というお話をします。

両腕を上へ上げ、産毛の向きを見てください。産毛はどのように生えていますか？産毛が身体の方に向かって生えているのがわかると思います。これは、人間が昔、木の上で生活していた証拠だといわれています。両腕で枝をつかみ、ぶら下がって移動していたから、毛がこのように生えているんですね。

よく知られているように、人間の歴史は、「猿が木から下りてきて、二本足でこの地面に立ったときから始まった」と言われます。

木をおりと、敵の姿を確認するために二本足で立たなければなりません。

二本足で立つと、より重い頭を支えることができるようになり、2本の手も自由になります。自由になると道具が使えるようになります。重い脳みそも支えることができるようになって発達し、いろいろ考えることができるようになります。そうして道具も進化します。このように進化を続けてきたのが私たち人間です。

では、どうして危険を冒して木をおりたのでしょうか？どうして二本足で立つことができたのでしょうか？

それは「自分でそうしよう」、「木をおりてみよう」「二本足で立とう」と決心したからです。決心しないものには変化はありません。「決心する」「自分の心に決める」ということは私たちが成長するためにとっても大切なことです。

木の上で生活していた猿に不都合はありませんでした。獲得できるえさが限られるなどの苦労はありますが、そのままでも生活できないわけではない。でも、私たちの祖先はあえて危険を冒して木をおり、猿とは別の道を歩み始めました。現状に満足することなく、「やる！」と決心し、困難を乗り越えたからこそ、生活範囲も広がり、進歩してきたんです。

「勉強頑張るぞ！」「毎日、宿題忘れないぞ！」「駅伝頑張るぞ！」

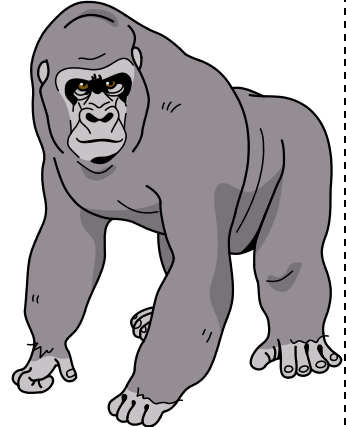
「挨拶・返事を頑張るぞ！」「部活動を頑張るぞ！」

と決心して努力する人だけが、進歩することができるのです。

1学期にもお話ししましたが、皆さんが活躍するための、実行に移すための準備はすべて1学期に整いました。後は決心して実践あるのみです。

さあ、今日から2学期！1学期と同じように「みんなよくがんばったなあ」と一緒に振り返られる2学期にしていきましょう。今日から始まる2学期を「充実した実り多いものにする」ため、先生方と一緒に頑張っていきましょう。

皆さんの一層の奮起を期待し、2学期始業式の式辞とします。



## 行事が目白押し！

夏の成果を試す行事が目白押しです。本日28日は、坂下中央公民館で両沼英語弁論大会。本校から3名が参加します。

9月3日には全会津駅伝競走大会。男子はチームが組めませんが、個人記録に挑戦です。あいづ陸上競技場周辺コースです。応援よろしくお祈りします。

4日には小中合同防災訓練があります。県の建設事務所の方がおいでになり、土砂崩れのメカニズムを模型を用いて説明いただきます。よろしかったらぜひお出かけください。



大内宿から町内「地域の宝」探す  
柳津の西山中生  
【星賢孝・ふるさと記  
者】柳津町の西山中生は、下郷町の大内宿から西山地区を経由して

柳津に至るルートを散策する旅を実施した。下郷町では、大内宿を県内有名な観光地に育て上げた吉村徳男さんの話を聞いた。八幡のケヤキの大きさに圧倒されながら、生徒全員が手をつなぎ、巨木を輪で囲んだ。西山地区に入ると芋の小屋で地区民手製の生そばを食べた。最後は地区内にあたる大瀑布「天婦滝」を訪れ、豪快にしぶきを上げる「牡滝」と静かな情景の旋律を響かせる「雌滝」の神秘的なたすまいを写真に収めた。

8月11日 福島民報より